

認知症予防に

特許取得※

協働性トレーニングマシン導入しています！

協働性って？

「協働性？」聞きなれない言葉だと思います。
「協働性」とは、知覚・脳・筋群の連携能力のことを言います。
この能力が低下すると…
例えば、**床に段差があることを確認しているのに避けられず転んでしまう**。ボールが飛んできたのを認識したのにキャッチできない等といったことがおきてきます。



そこで「協働性トレーニングマシン」を是非ご活用ください！

「協働性トレーニングマシン」はゲーム感覚で協働性を鍛えることのできるマシンです。
PC画面に表示される目標波形に合わせて、ボタンを強く押ししたり弱く押ししたりします。これによって知覚と脳と筋肉が連携して動くようになります。トレーニング終了後は得点がでますので、今の協働性の状況を知り、「次はもっと高い得点を出そう！」と頑張る意欲が湧いてくるでしょう。



認知症予防にも

認知症は脳にある「前頭前野」の機能に関係があります。
NIRO（脳血流分析装置）を用いた研究により
協働性トレーニングは「前頭前野」を活発に使うことが示されており、**協働性トレーニングの認知症に対する影響も報告されています。**



「協働性トレーニングマシン」は岐阜県中津川市坂下町の「国保ヘルスアップモデル事業」の運動教室に導入され、「転倒予防」と「認知症予防」の期待ができるという結果が出ています。

協働性トレーニングマシンは**7階リハビリルーム**に設置しています！